

「CO2の見える化」に向けて
～カーボンフットプリント制度試行事業の成果と今後の取組～

2011年2月

経済産業省
産業技術環境局
環境調和産業推進室

目次

0. 現下の環境調和産業政策の要諦	P2
1. カーボンフットプリント制度とは	P3
2. なぜ今、「カーボンフットプリント」か～産業政策の観点～	P10
3. カーボンフットプリント制度試行事業の全体スケジュール	P19
4. 試行事業の成果と今後の取組の方向性～PCR認定が先行、商品の拡充が課題～	P20
5. 平成21年度試行事業を踏まえた見直しの概要	P21
6. 民間の自主的な取組の胎動	P22
7. カーボンフットプリント制度の普及推進	P24
8. まとめ	P26

0. 現下の環境調和産業政策の要諦

○我が国の経済・産業・社会システムに「LCA」と「サプライチェーン協働」の仕組みをビルトイン。

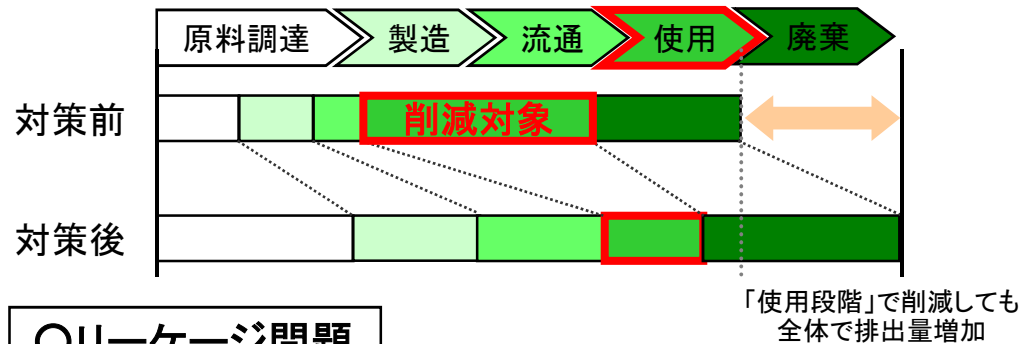
世界の大きな変化

地球規模の環境問題の高まり

グローバル化 / システム化

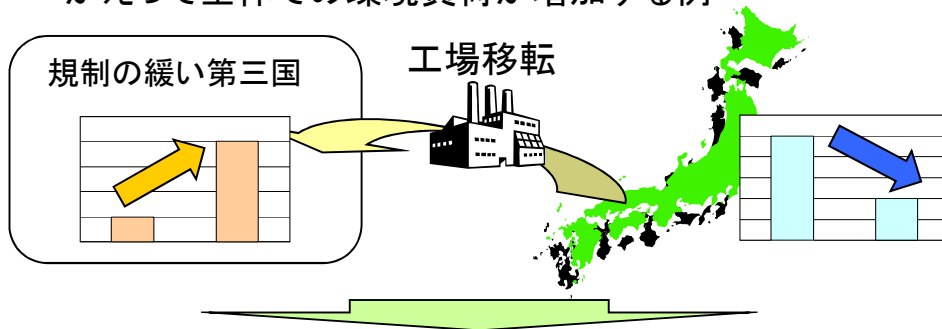
○トレードオフ問題

一つの段階で環境負荷を削減しても、全体で増加する例



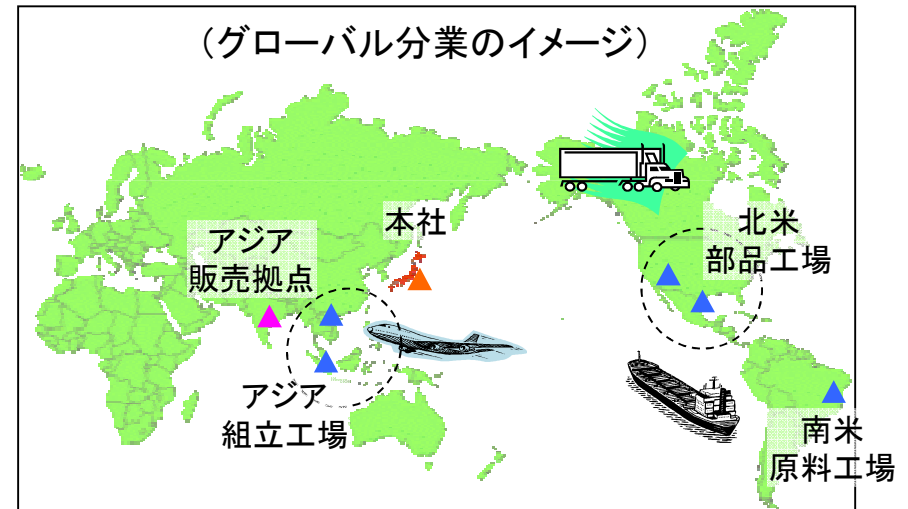
○リーケージ問題

一部の地域で環境負荷の排出規制を行うことで、生産拠点等の規制が緩い他地域への移転が起こり、かえって全体での環境負荷が増加する例



○グローバル・マネジメントの要請

グローバル分業が前提となり、サプライチェーンが複雑化。新興国企業を中心に意識の共有が不可欠に。



○システム思考に基づく競争力強化

自社が多数のプレイヤーで構成される複雑なサービス提供システムの一部であることを俯瞰した上で、関係者間のリーダーシップを取り、自社の強みを際立たせるという考え方。

ライフサイクルアセスメント(LCA)による「見える化」

サプライチェーン協働による課題解決

1. カーボンフットプリント制度とは ①背景

ライフサイクルにおける温室効果ガス排出量の「見える化」による地球温暖化対策

【国内】「低炭素社会づくり行動計画」（2008年7月）で、カーボンフットプリント制度を閣議決定。
温対法に明確に位置づけ、グリーン購入法に基づく基本方針にも盛り込んで閣議決定。

【海外】イギリスなどの世界各国で、カーボンフットプリント制度に関する具体的な取組がスタート。
ISOでも国際規格（「ISO14067」）を議論中。

【地球温暖化対策の推進に関する法律】（抜粋）

（日常生活における排出抑制への寄与）

第二十条の六 事業者は、国民が日常生活において利用する製品又は役務（以下「日常生活用製品等」という。）の製造、輸入若しくは販売又は提供（以下この条において「製造等」という。）を行うに当たっては、その利用に伴う温室効果ガスの排出の量がより少ないものの製造等を行うとともに、当該日常生活用製品等の利用に伴う温室効果ガスの排出に関する正確かつ適切な情報の提供を行うよう努めなければならない。（※）

（※）地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく排出抑制等指針（2008年12月12日）において以下のとおり規定。

事業者は、日常生活用製品等について、当該製品等の環境性能等及びその認証等を表示する標章や、低炭素社会づくり行動計画に記載されたカーボン・フットプリント制度等の「見える化」の活用により、その利用に伴う温室効果ガスの排出の量等について、当該日常生活用製品等への貼付、陳列棚やレシートにおける表示、インターネット等を通じた情報の提供を行うよう努めること。

【「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）第6条の規定に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成22年2月5日閣議決定）」（抜粋）

3. その他環境物品等の調達の推進に関する重要事項

(6) 環境物品等に関する情報の活用と提供

～各機関は、提供情報の信頼性や手続の透明性など当該情報の適切性に留意しつつ、エコマークや、エコリーフなどの第三者機関による環境ラベルの情報の十分な活用を図るとともに、温室効果ガス削減のための新たな取組であるカーボン・オフセット認証ラベル、カーボンフットプリントマークを参考とするなど、できる限り環境負荷の低減に資する物品等の調達に努めることとする。

1. カーボンフットプリント制度とは ②概要

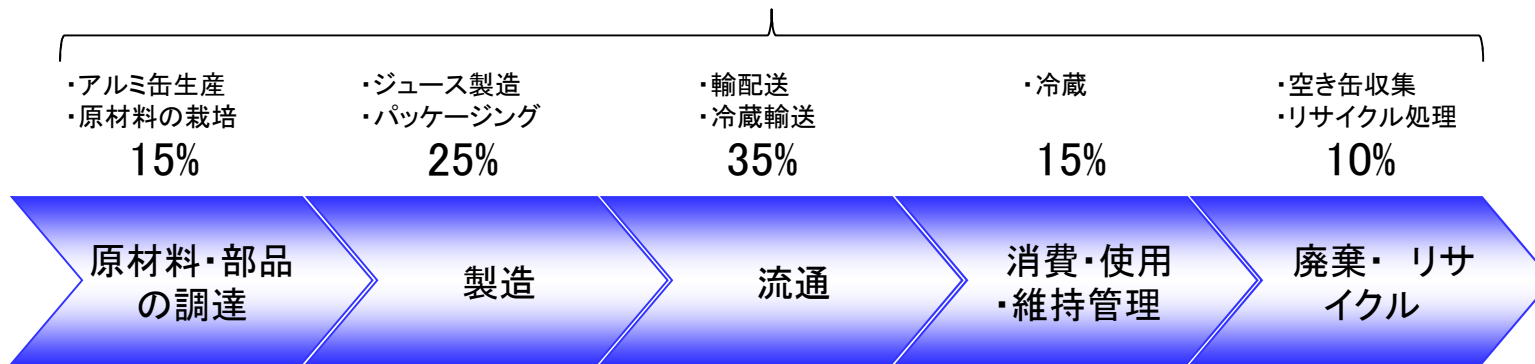
○カーボンフットプリント制度とは、商品のライフサイクル全体で排出された温室効果ガスを「見える化」する仕組みの一つ。

○事業者・消費者双方が温室効果ガス削減に向けた行動をするため、一定のルールに基づいて算出した数値(物差し)。

カーボンフットプリント制度の意義(イメージ: 缶飲料)

事業者にとっての意義

CO2数値を表示できるレベルのサプライチェーン管理(トレーサビリティ)能力のアピール



注: 数値は全て仮定

事業者間を超えた全体最適化
≡「ムダの見える化」

温室効果ガスの削減効果が
大きい部分を把握

消費者にとっての意義

環境調和型の消費行動のためのシグナル



(参考1)カーボンフットプリント貼付商品の事例②



2010年11月30日
株式会社日立製作所
株式会社日立ソリューションズ

イオンのPB「トップバリュ グリーンアイ 宮崎県産ピーマン」 国内初のカーボンフットプリント付野菜発売！ 宮崎県と協力しCO₂の見える化を推進！

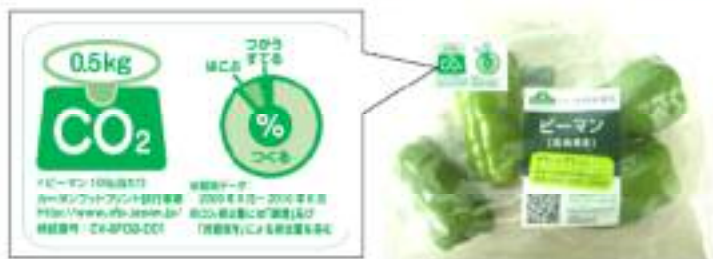
イオンは、宮崎県とJFA宮崎経済連、生産者の皆さまのご協力のもと、国内初となるカーボンフットプリント（CFP）付野菜として、イオンのプライベートブランド（PB）「トップバリュ グリーンアイ 宮崎県産ピーマン」を、本年12月8日（木）より9日（木）にジャスコ品川シーサイド店（東京都品川区）にて先行販売し、さらに2011年早々よりグループのジャスコ、サティ、マックスバリュ、イオンなど約500店舗にて本格展開いたします。

イオンは、2001年より、宮崎県とJFA宮崎経済連とで構成する「みやざきブランド推進本部」と協力しながら、PB「トップバリュ グリーンアイ」農産物の生産において、環境安全に配慮した生産方法に取り組んでおります。

その一環として、「トップバリュ グリーンアイ 宮崎県産ピーマン」に、商品の原材料から加工段階、流通、消費、廃棄、リサイクルまで商品のライフサイクルで発生するCO₂排出量を表すCFPを表示する取り組みを進め、このたびのCFP制度試行事業において検証を受けた結果、野菜としては国内で初めて商品へのCFP表示が認められました。

CFP商品の店頭販売は、お客さまに身近な商品のCO₂排出量をお知らせする事で、より多くの方々に環境への関心を高めていただくことができます。また、企業においては商品のライフサイクルの各過程で発生するCO₂量を把握する事により、CO₂削減の取り組みをさらに進めることができ、社会の実現に貢献すると同時に、サプライチェーンにおけるムダの削減によるコスト改善にもつながり、将来的にはそのメリットをお客さまに還元することが可能となります。

当社は、今後も、当商品の店頭販売の拡大を含め、毎日お客さまと接する小売業の立場からCO₂の“見える化”にむけて、積極的にCFP制度の実用化と普及に取り組んでまいります。



システム製品で初めてカーボンフットプリントマークを取得

「電子黒板(StarBoard®)を用いた遠隔会議システム」にCFPマークを表示

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 実明/以下、日立)と株式会社日立ソリューションズ(本社:東京都品川区、取締役社長:林 雅博/以下、日立ソリューションズ)は、日立ソリューションズの電子黒板「StarBoard®」を用いた遠隔会議システムで、システム製品としては国内で初めて、11月24日にカーボンフットプリント(Carbon FootPrint of Products/以下、CFP)マークの使用許諾を得ました。

日立と日立ソリューションズは、IT製品やITの活用を通じて環境配慮活動を実施する地球環境貢献プラン「GreenAction100」活動の一環として、経済産業省および関連省庁が推進するCFP制度試行事業に参加し、「電子黒板を用いた遠隔会議システム」を対象とした商品種別算定基準(Product Category Rule/以下、PCR)の算定、およびPCRに基づくCFP算定を進めてきました。今回の使用許諾により、日立グループのIT製品として初めて、CFPマークを取得しました。

CFP制度は、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体で排出される温室効果ガス(Greenhouse Gas/以下、GHG)の排出量をCO₂量に換算し、マークなどを使って分かりやすく(見える化)することにより、利用者にはCO₂排出量を考慮した商品購入への関心を高めてもらうとともに、事業者には製品のライフサイクルでのCO₂排出量削減を促すための制度で、経済産業省が2009年から関係省庁との連携のもと、試行事業を進めています。

今後、日立ソリューションズは、「StarBoard®」を用いた遠隔会議システムのカタログなどにCFPマークを表示していきます。また、日立と日立ソリューションズは、引き続き、製品の製造や使用に伴う環境負荷の把握と削減を推進していきます。

なお、「StarBoard®」を用いた遠隔会議システムを、12月9日から東京ビッグサイトで開催される、エコプロダクツ2010で展示します。

※数値は特定の入力事例について算定し、検証を受けたものです。実際の数値とは異なる場合があります。

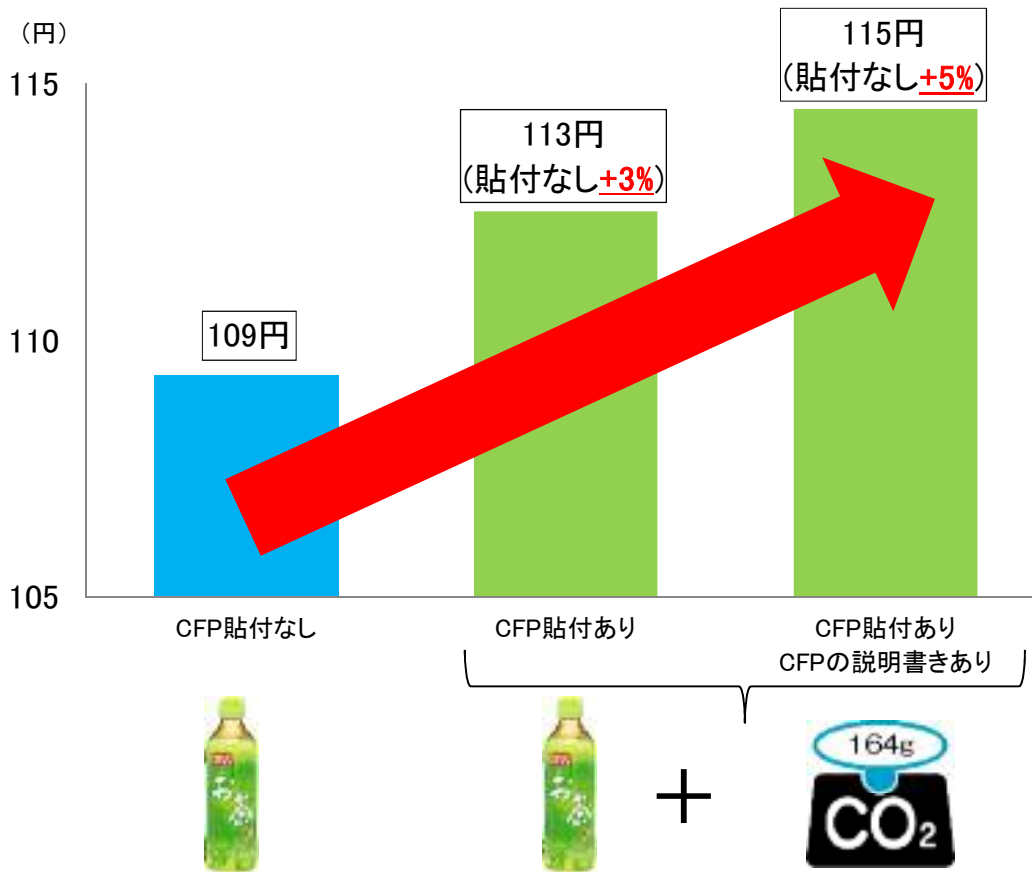


【注】
上記の数値は4,750kgは、本製品の使用、およびソフトウェアのインストールと実行に際し、ソフトウェアのインストールと実行に際して排出されるGHGの排出量です。
(1)製品の使用について
日立と日立ソリューションズの東京-品川間の2機、2機の間隔で、100人、1.15時間の会議を毎月1回実施する(52.1時間、40,300)の間のソフトウェア使用はCFP制度の公式サイトの<http://www.cfp-japan.jp/>に詳細情報をご確認ください。
会議時間あたりのGHG排出量
500kg/会議時間
上記の数値は4,750kgは、本製品の使用、およびソフトウェアのインストールと実行に際して排出されるGHGの排出量です。

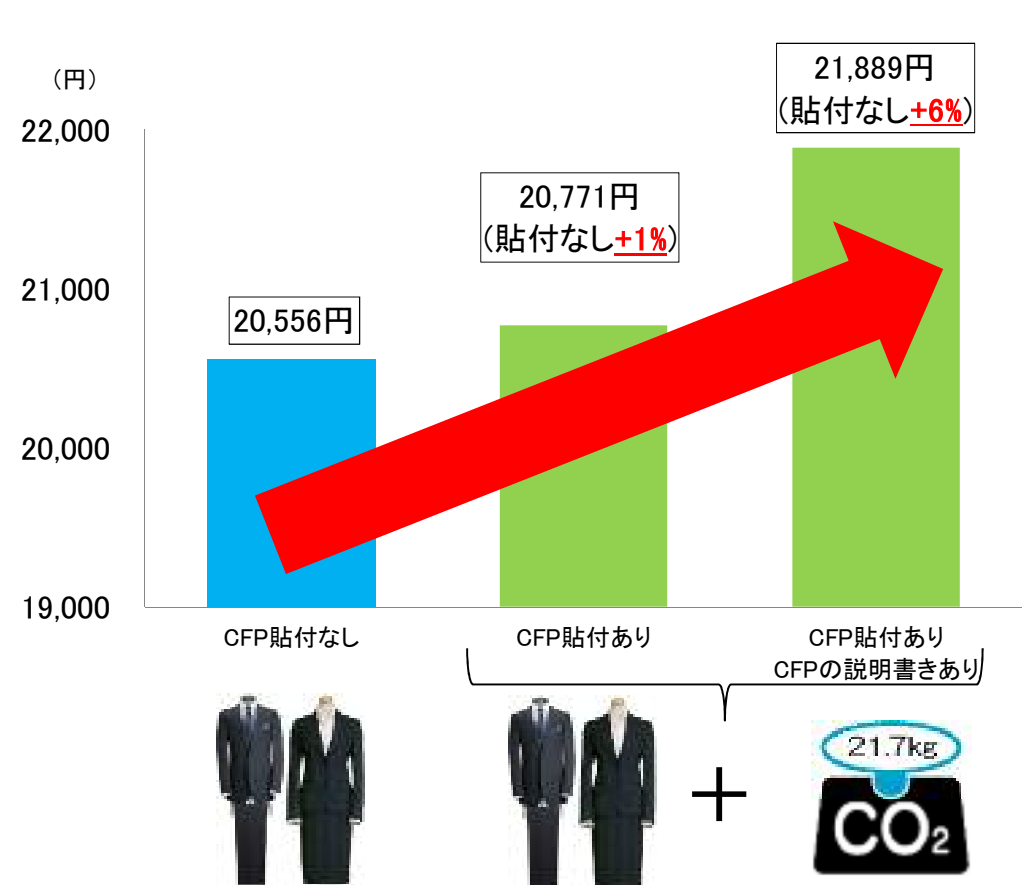
(参考2)カーボンフットプリント貼付による効果の例 ～消費者目線の付加価値向上①～

- 消費者は、カーボンフットプリント(以下「CFP」)貼付商品を高く評価するとの分析結果。
- 内容を知ったほうがより高い評価につながるとの結果も出ており、引き続きCFPの認知率の向上及びCFPを活用した消費者が求めるコミュニケーションの在り方を検討。

お茶の「ちょうどよいと思う値段」の比較



スーツの「ちょうどよいと思う値段」の比較

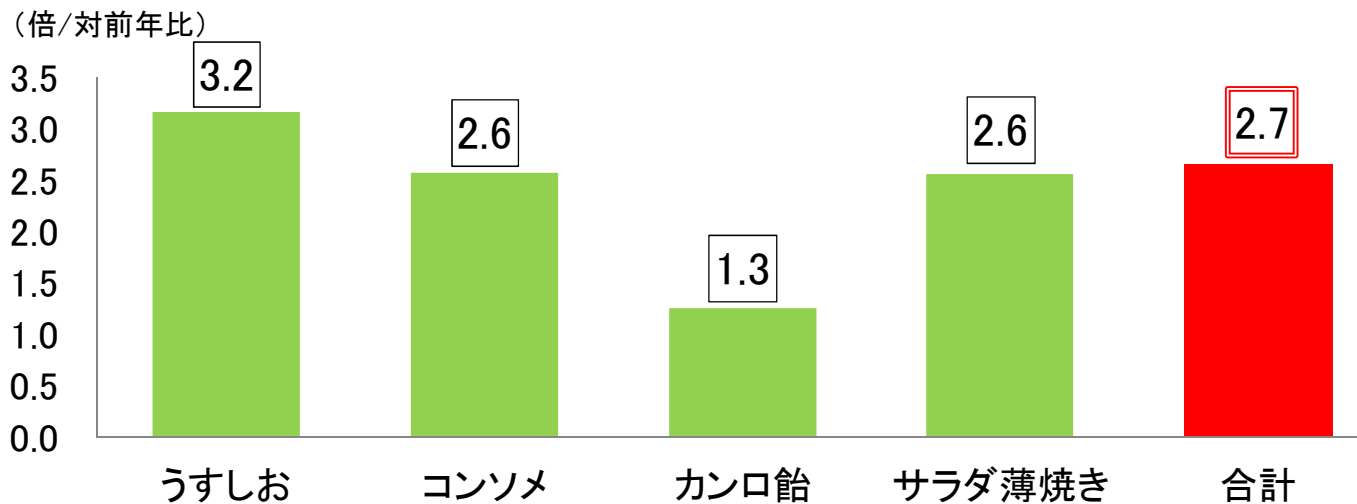


(出所) 経済産業省「商品購入に関するアンケート」(2010年10月) ※1 それぞれ別の200名のグループ3つからの回答平均。グループの男女・年齢構成は同じ。
 ※2 CFPの数値はアンケートのために使用した参考値であり、実際の数値ではない。

(参考2)カーボンフットプリント貼付による効果の例 ～消費者目線の付加価値向上②～

○国分(株)等がカーボンフットプリントを用いて行ったキャンペーンでPOSデータを分析したところ、**キャンペーン対象製品の売上数量が前年比の約2.7倍**になったとの報告あり。

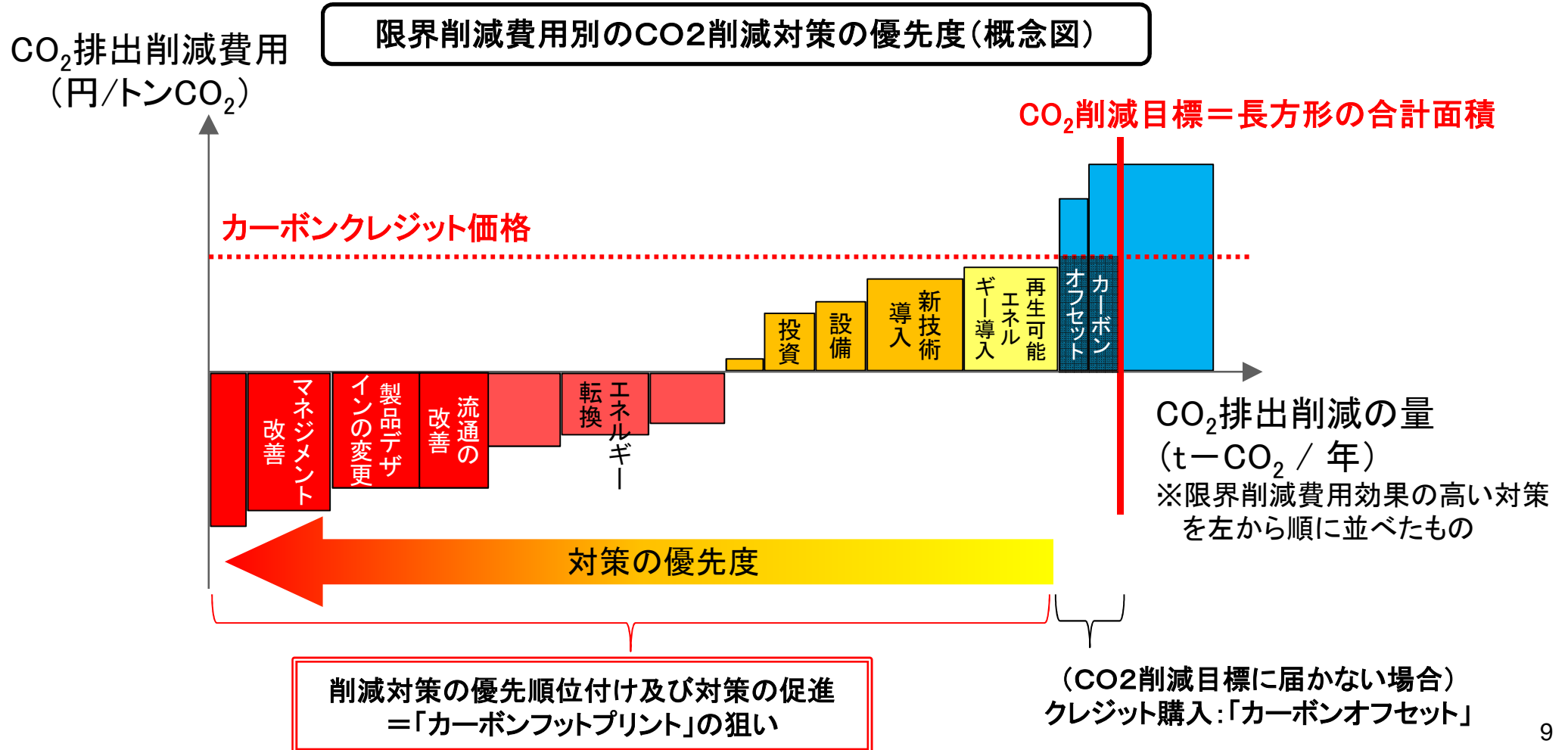
各キャンペーン対象製品の売上数量(前年比)の状況



(出所)「あなたが選ぶ！森が生きる！キャンペーン最終報告」(2010年10月)(国分株式会社、カルビー株式会社)
 (集計方法)エコス6店舗(奈良橋店、北本店、築地店、拜島店、中神店、昭島店)各店舗のPOSデータより販売数量から、対象商品の同店前年販売数量と比較

(参考3)カーボンフットプリント制度の狙いとカーボンオフセットとの関係

- CFP制度の狙いは、事業者・消費者のコミュニケーションを通じた「削減対策の優先順位付け及び対策の促進」。(CFPに取り組んだ多くの企業から、「サプライチェーンを改善するための発見につながった」等の報告あり。)
- クレジットの購入によるカーボンオフセット(相殺)は、CO₂削減目標達成のため、取り得る対策の優先順位を見極めた上で、限界削減費用が高い対策しか残っていなかった場合に行うべき手法。



2. なぜ今、「カーボンフットプリント」か ～産業政策の観点～

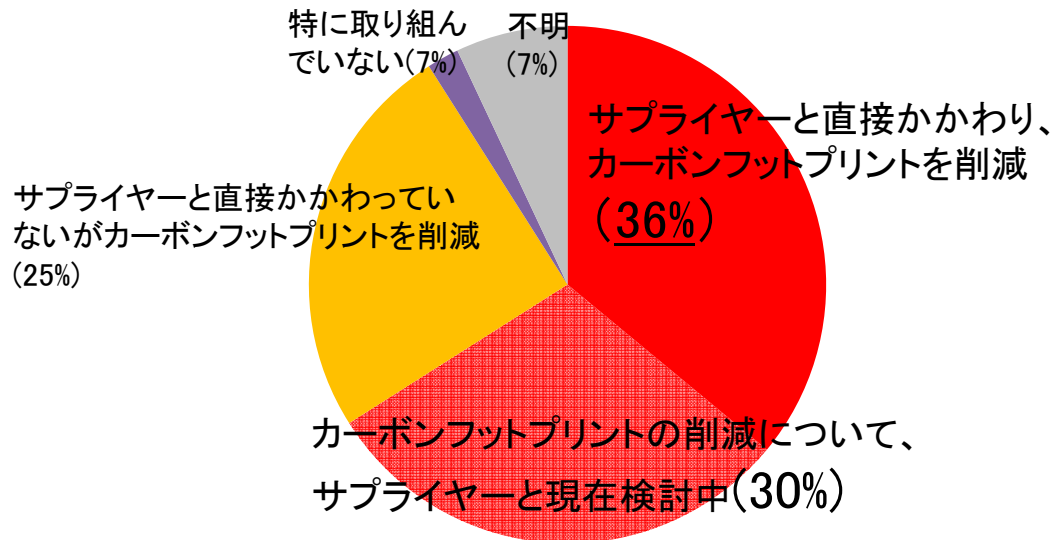
○世界的に、「サプライチェーン協働」によってCO₂削減に取り組むグローバルプレイヤーが急増。

消費者側も、環境意識の高まりから、カーボンフットプリントへの関心大。

○グリーンを強みに、新成長戦略を推進する我が国においては、かかる国際潮流を主導することが重要。

他方、日本においては、試行事業等を通じた一定の進展は見られるが、さらに加速していく必要がある状況。

世界企業のカーボンフットプリントの取組み



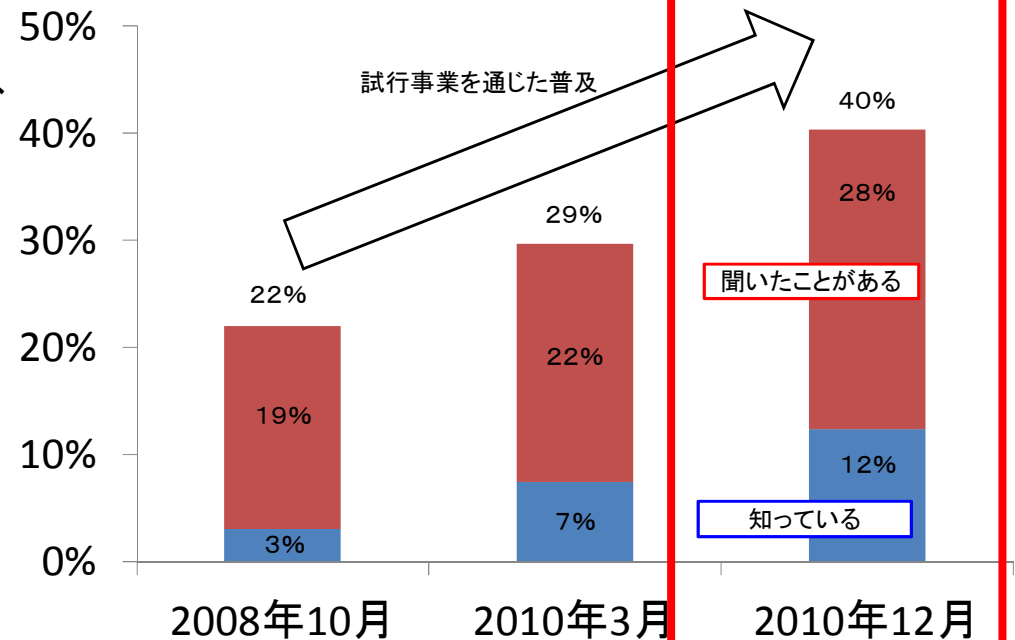
(出所)新日本有限監査法人、アーンストヤング(2010年8月)
「不確実下における対策 気候変動に対する企業の対応」
16国(日本含む)・18業種の300社に対するアンケート調査

(参考)日本企業の取組み:

ライフサイクル全体でのカーボンフットプリントの排出削減を
サプライヤーに求める企業の割合 19%(大企業)

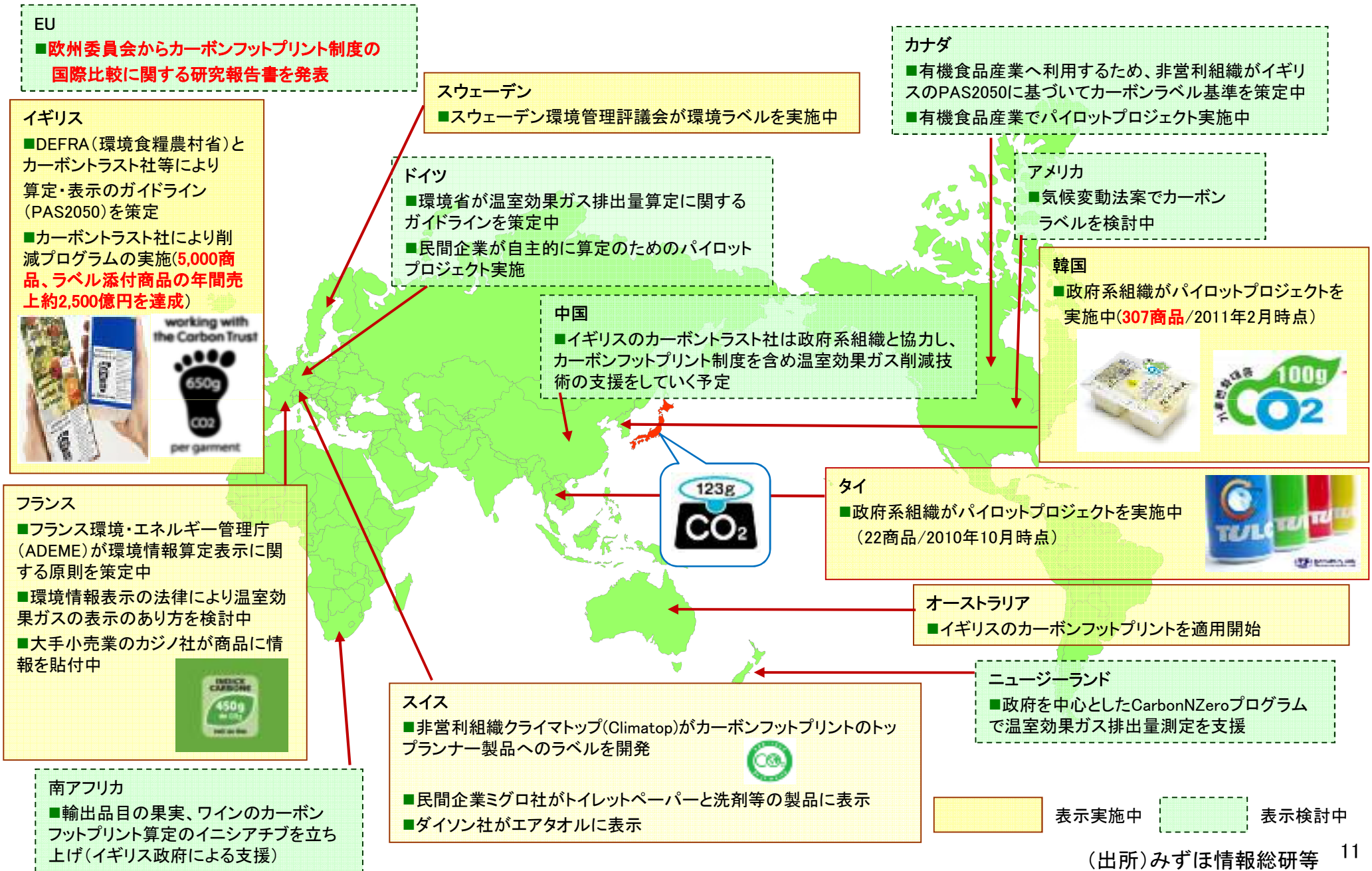
(出所)共立総合研究所「企業経営に求められる環境配慮」(2010年7月)

日本におけるカーボンフットプリントの認知率



(出所)インターネット調査(マクロミル)

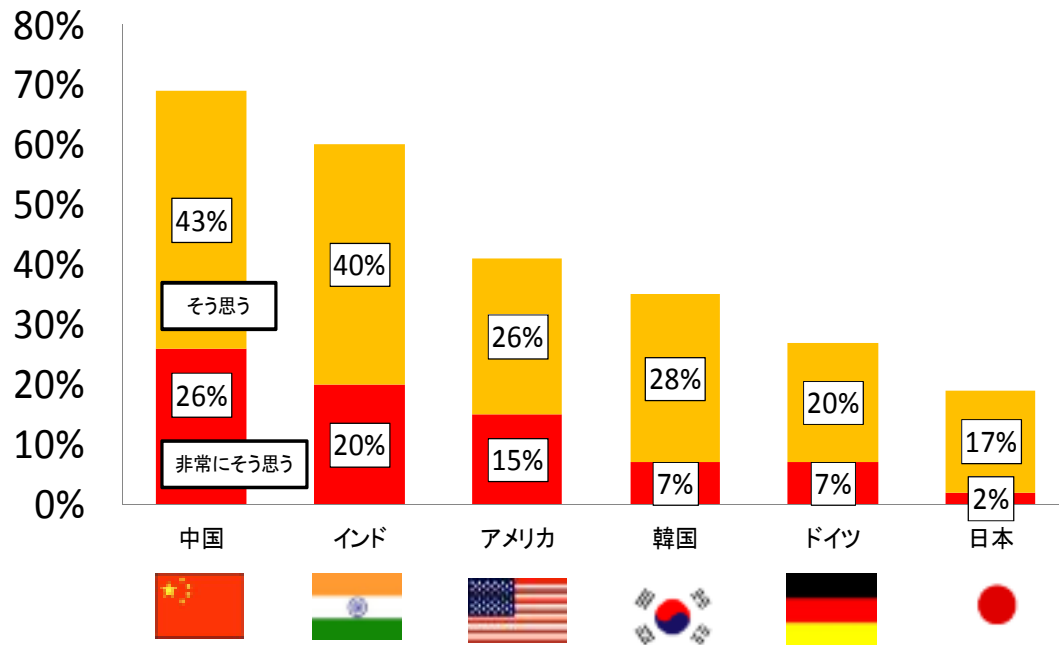
(参考1)世界のカーボンフットプリントに関する動向 ~欧州勢の戦略、韓国勢の猛追~



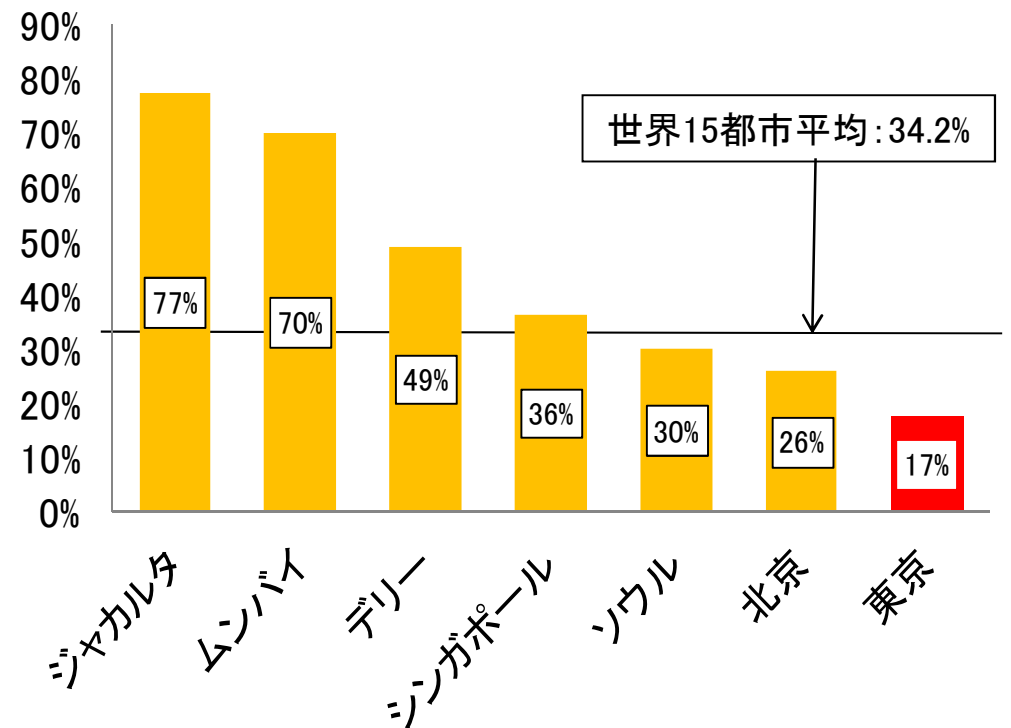
(参考2) 新興国市場における環境シグナル効果の可能性

- 今後成長市場である新興国のボリュームゾーン消費者の環境問題への関心は高い。
価格シグナルと同様に、環境シグナルにも**鋭敏に反応する可能性が高い**。
- 新興国における環境面でのブランド・ビルディングで欧州・韓国勢等に先行される懸念。

「自分が環境に与える悪影響を減らそうと努力している」と答えた割合の国際比較



「環境問題全般に非常に関心がある」と答えた割合の国際比較

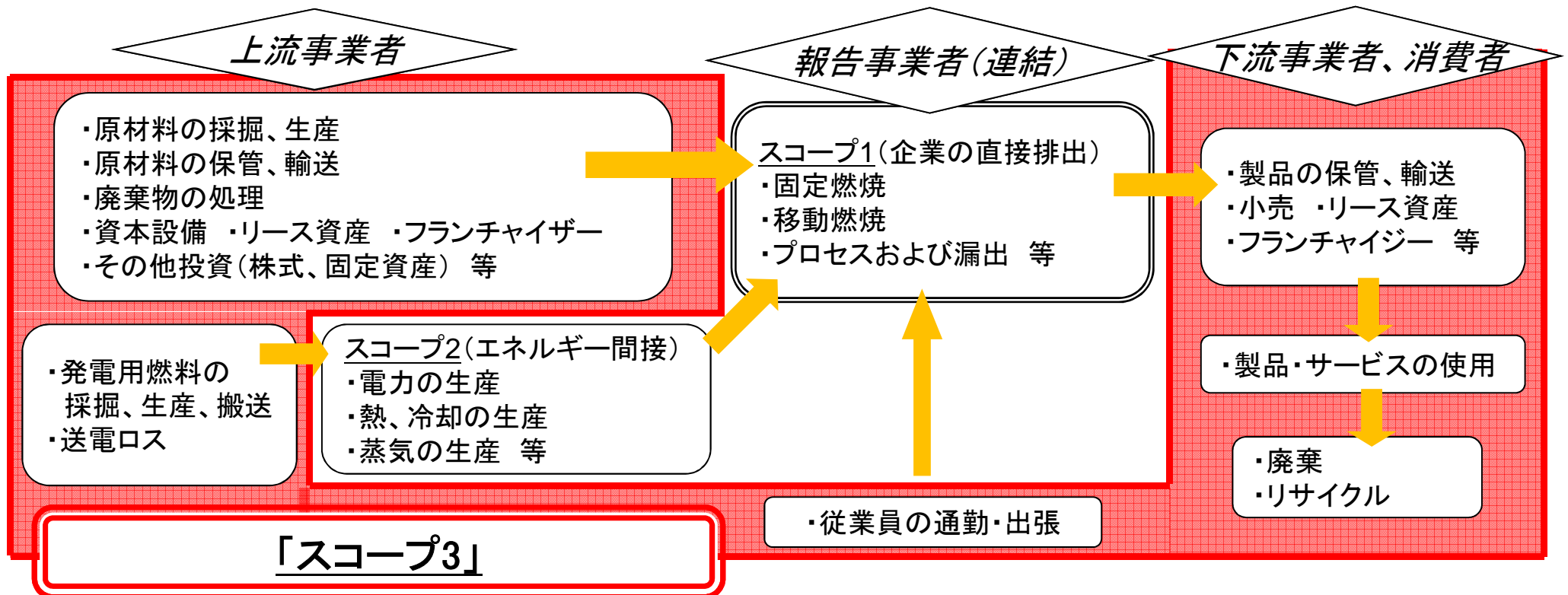


(出所) 「Greendex 2010: Consumer Choice and the Environment—A Worldwide Tracking Survey」National Geographic and Globe Scan
<http://environment.nationalgeographic.com/environment/greendex>

(出所) 博報堂「Global HABIT」(15～54才男女で各都市500～800名。
 各都市の都市人口の50～85%程度の所得層を対象にスクリーニング) 12

(参考3) 欧米勢の新しい動き: ①「スコープ3」 組織のサプライチェーンのCO2「見える化」

- 「スコープ3」とは、温室効果ガス算定・報告の世界的なガイドラインである「GHGプロトコル」で定義される算定範囲の一つ。(スコープ1: 企業の直接排出、スコープ2: エネルギー利用による間接排出、スコープ3: 組織のサプライチェーン(自身以外))
- 「スコープ3」は、カーボンリーケージ防止の観点から、WRI(世界資源研究所)及びWBCSD(持続可能な開発のための世界経済人会議)によって策定が進められており、11月2日に最終原案のパブリックコメントを開始。
- 当初示された「スコープ3」を完全に算定するには、事業者が購入する全製品のカーボンフットプリントが必要になる等、企業への影響が大きかったため、本年6月より研究会を開催し、国際議論への産業界の対応を促進。



(参考3) 欧米勢の新しい動き: ② 具体事例 米国ウォルマート社のCO2削減プログラム

- 2010年2月、米国ウォルマート社はグローバル・サプライチェーン全体から排出される温室効果ガスを、2015年末までに2,000万トン削減する目標を発表。
- この活動において、全商品カテゴリのカーボンフットプリントを調査し、削減することを宣言。

【米国ウォルマート社の削減プログラムの概要】(2010年2月発表)

○選定:

ライフサイクル中で発生する二酸化炭素の量が最も多い商品カテゴリに焦点を当てた取組みを計画。商品が排出する二酸化炭素の量を把握するために、アプライド・サステナビリティ・センターは、ウォルマートの全ての商品カテゴリで、温室効果ガス排出量を調査。

○行動:

目標である2,000万トンの削減の対象は、「商品の原料調達」、「製造、輸送」、「お客様による使用」、「使用後の廃棄」のいずれかの段階で排出される温室効果ガス。排出量の削減に直接影響を及ぼしていることを実証し、ウォルマートの関与なしにはその削減が実現できなかったことを示す。

○評価:

達成された削減は、サプライヤーとウォルマートの共同の実績とする。クリアカーボン社は、報告された削減実績について、その削減方法や完成度合、計算方法の正確性を検査。また、PWCが基準に即して、排出削減実績が所定の手順に基づき一貫した方法で数値化されていることを査定・評価。

(参考) 米国ウォルマート社の温室効果ガス削減プログラムの詳細 : <http://walmartstores.com/sustainability/9660.aspx?sourceid=greenhousegas&ref=>

(参考4)取引先から取得を求められる環境規格としての可能性

○カーボンフットプリントは2011年度内にISO規格化(ISO14067)を予定。グローバル・プレイヤーの動向次第では、**取引先から取得を求められるような環境規格**(例: ISO14001)となる可能性あり。

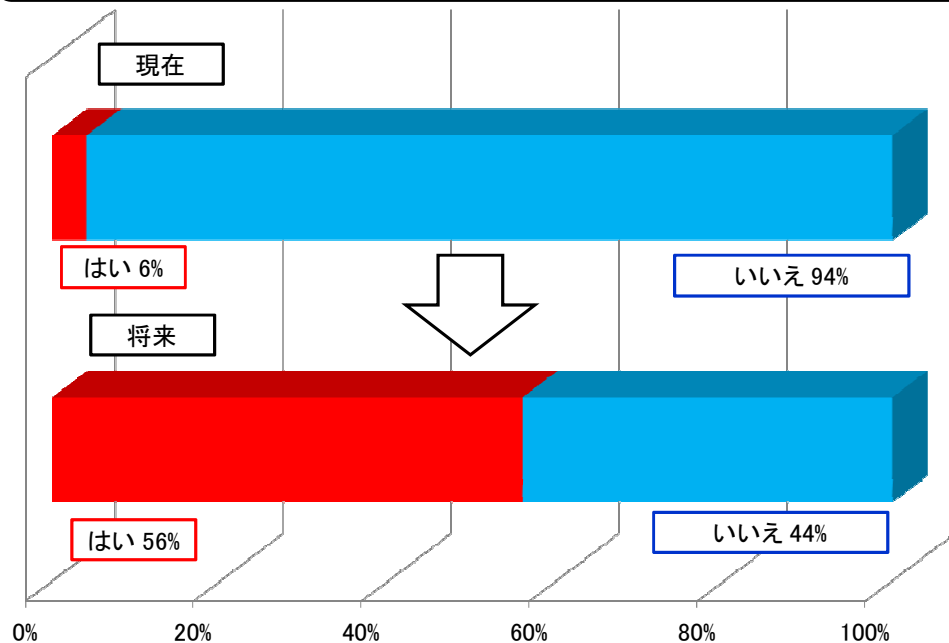
【参考:ISO14001】

○1996年に発行された組織活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を実施する仕組みが継続的に運用されるシステム(環境マネジメントシステム)を構築するために要求される規格。

○企業の社会的責任、地域環境への配慮、顧客要求への対応などを目的として、自治体、商社、病院、銀行等で登録が増加。

将来、「カーボンマネジメント基準」への適合を
サプライヤーに要求すると回答する企業

「カーボンフットプリント」でグーグルニュース検索をすると……



潘基文事務総長が世界未来エネルギーサミットでヤング・フューチャー・エナジー・リーダーズに向けて講演 - 2011年1月19日

国際風力協会およびロンドン・アレー風力発電所の発表および事例研究、YFEL ディベート: **カーボンフットプリント削減において直面する課題**。...

燃料級エタノール技術実証でインディアン・オイルとランザテックが覚書
2011年1月17日







「私たちの目標は、インディアン・オイルの精油所における収益性の向上と**カーボンフットプリントの全体的削減が実現**できることを示すことにあります。同時に、インディアン・オイルはインドの再生可能燃料に関する規制を順守することができるようになります。...

マスターが世界未来エネルギーサミットでLAGIコンテストの受賞チームを表彰
2011年1月16日

建設物は、やがて建設で生じた**カーボンフットプリントと設置費用の両方を相殺**し、将来的に優れた投資となります。アブダビの多角的イニシアチブとして再生可能代替エネルギー技術・ソリューションの開発・商用化を推進するマスターは、...
等々

(参考5)世界のカーボンフットプリント制度の評価

- 本年7月、欧州委員会から世界の11種類のカーボンフットプリント制度の評価・ランキングが発表。
(6つの利用シナリオで、手法の運用、信頼性、データ収集、算定結果、算定ツール等の基準により評価)
- 日本のカーボンフットプリント制度は、高い透明性・信頼性等により世界最高水準の評価。**
(フランスはグルネル法での義務化を前提とした制度であることに留意)

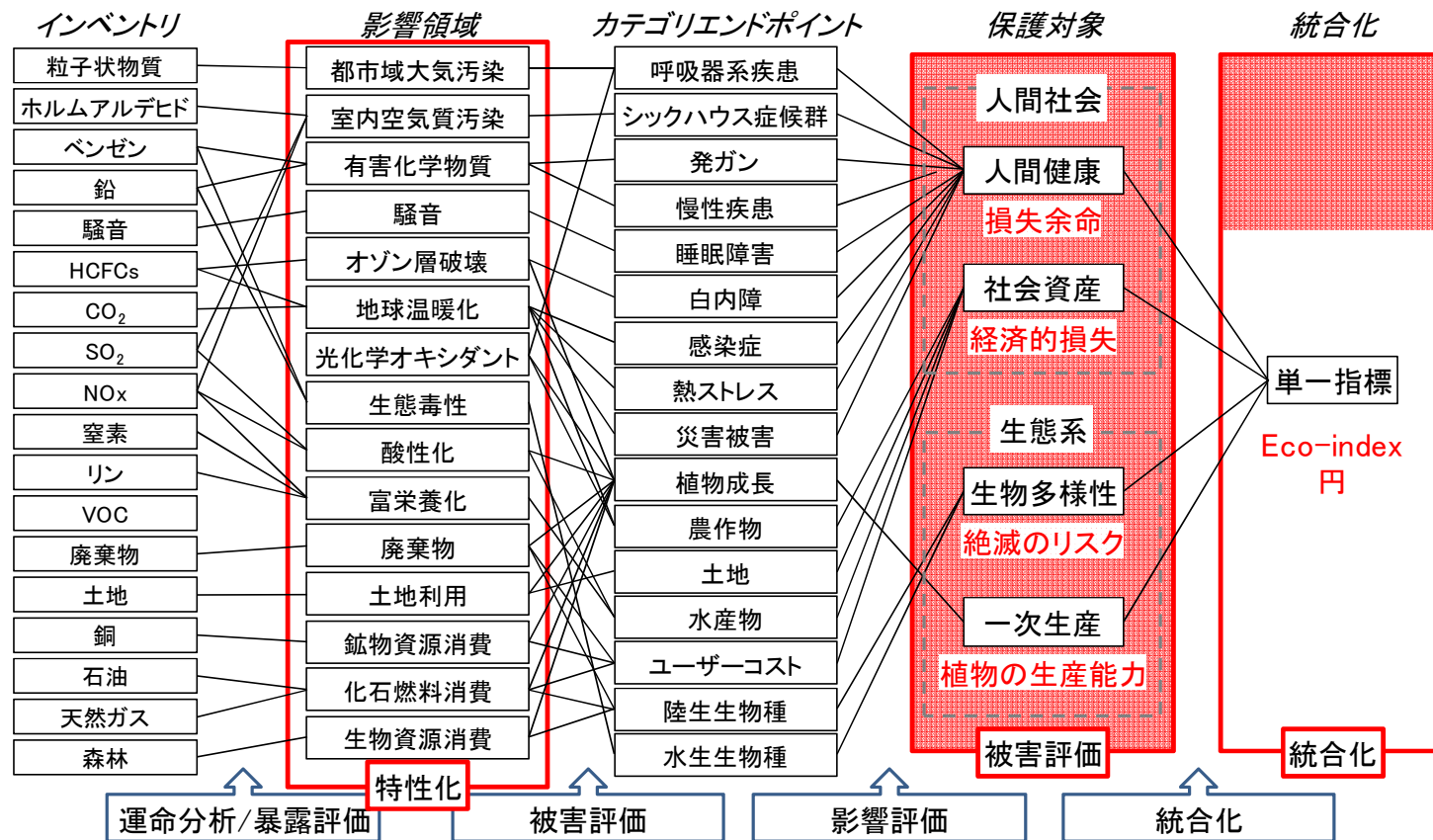
		日本	ISO ISO14067	韓国	イギリス PAS2050	フランス BPX30-323	スイス Climatop
(注)各シナリオ(利用目的)毎の評価を実施							
シナリオ1:社内利用		2位	2位	5位	5位	1位	10位
シナリオ2:消費者への コミュニケーション	a:低CF製品の 認定	3位	4位	4位	7位	1位	8位
	b:CFPの 自主的表示	4位	6位	2位	3位	4位	11位
	c:CFPの 必須表示	4位	6位	5位	7位	1位	10位
シナリオ3:低CF製品への経済インセンティブ		2位	3位	6位	7位	1位	9位
シナリオ4:必須環境配慮項目の設定		4位	6位	5位	7位	1位	9位

(出所)欧州委員会環境総局「Product Carbon Footprinting – a study on methodologies and initiatives」(2010年7月)より経済産業省作成
http://circa.europa.eu/Public/irc/env/carbon_footprint/library?l=/pcf_reportpdf/_EN_1.0_&a=d

(参考6)複合的な環境影響評価への高度化の国際潮流

- 世界的な潮流は「CO₂」のみならず、生物多様性などの複合的な環境影響を「見える化」する方向に高度化。
(例:ウォルマート社では、CO₂に加え、水や資源などの影響を統合化して表示する指標を研究中)
- 日本では、LIME2(※)など「見える化」手法の開発段階では世界に先んじているが、活用面で遅れ。

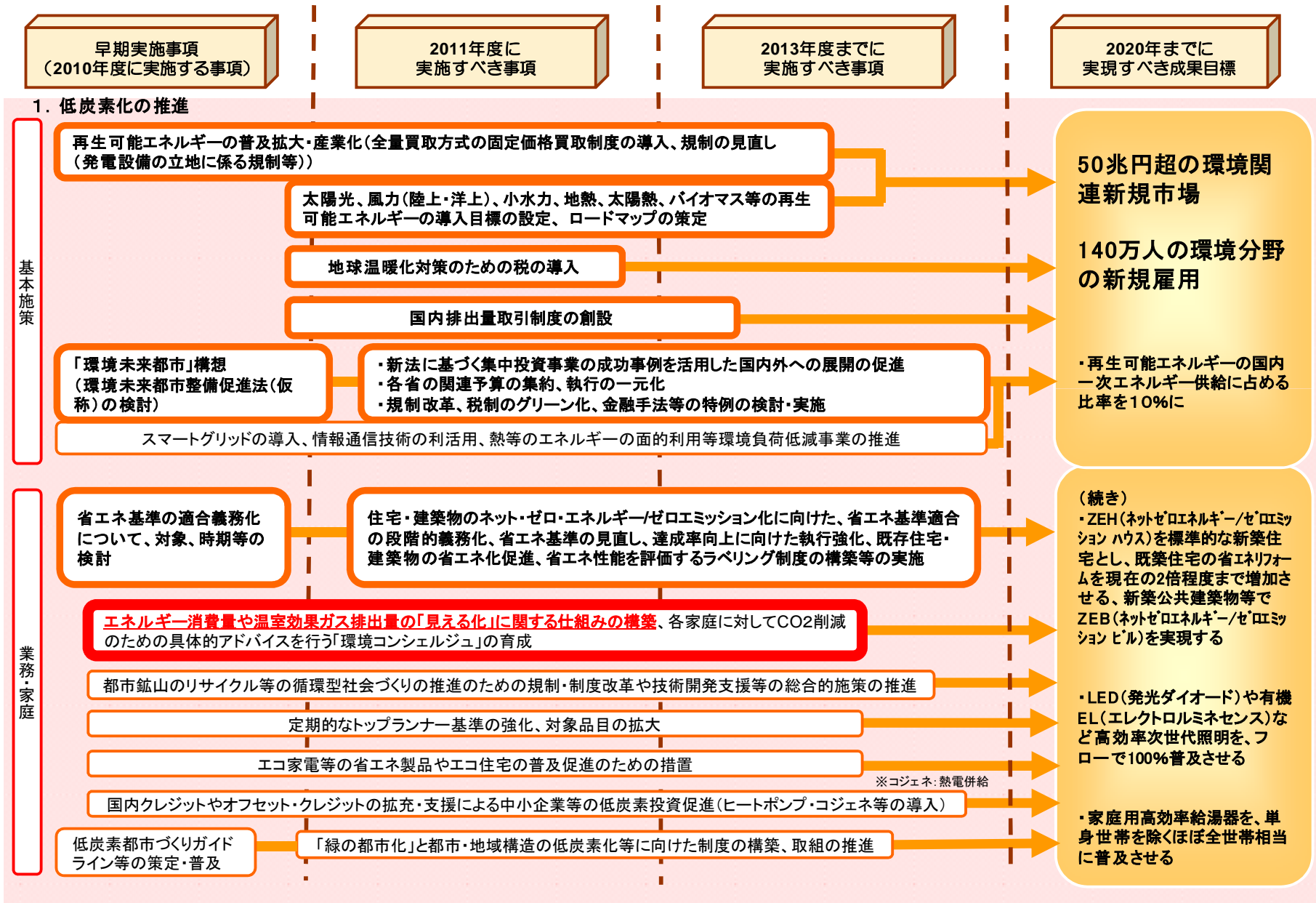
LIME2 (日本版被害算定型環境影響評価手法)の概要



(※) LIME2: 第2期LCA国家プロジェクト(2003年4月~2006年3月)における研究の一環で開発したライフサイクル環境影響評価手法
Life Cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling (出所)産業技術総合研究所 17

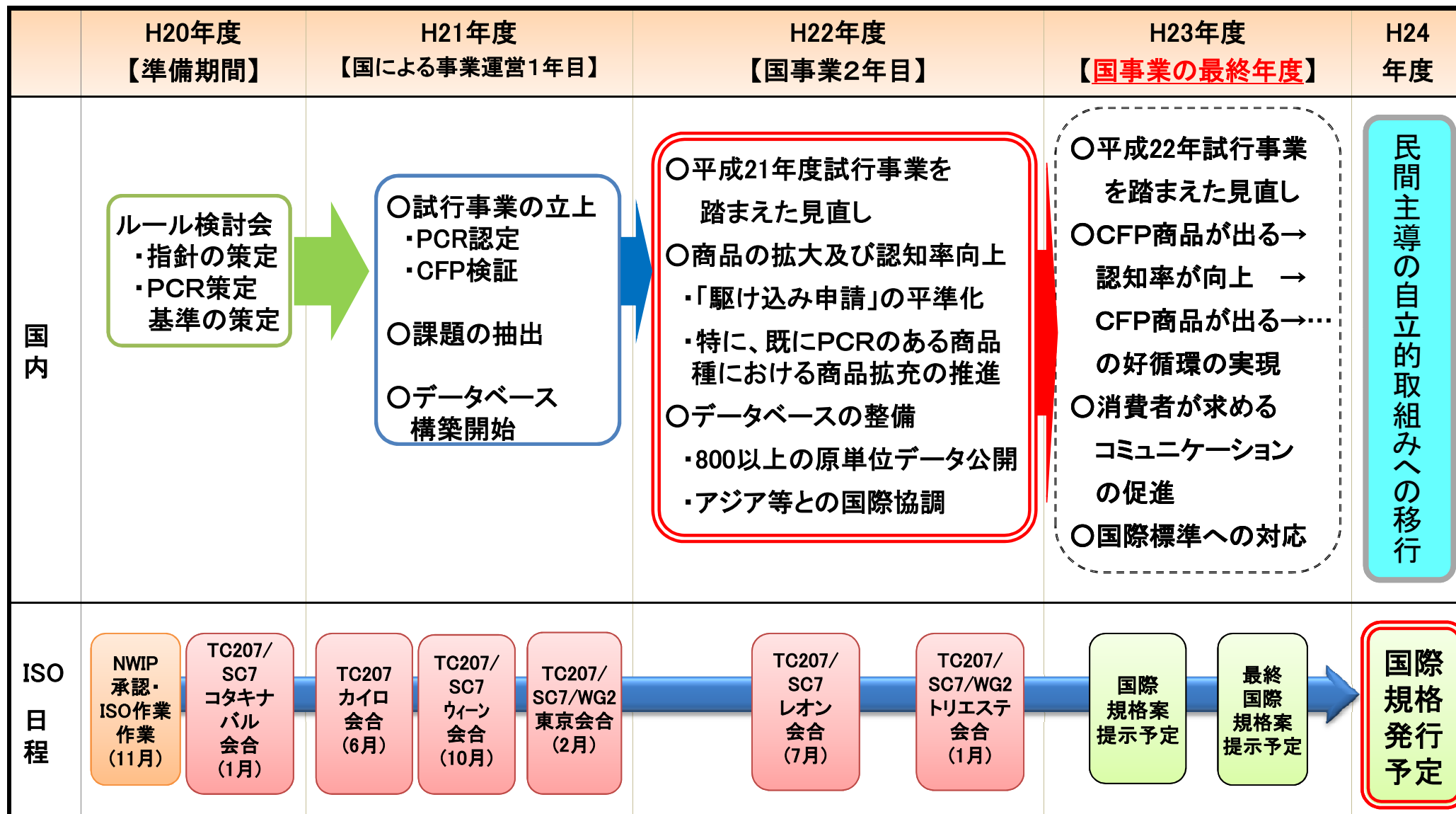
(参考7)新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)における位置づけ

「新成長戦略工程表」 I 環境・エネルギー大国戦略



(参考8)カーボンフットプリント制度試行事業の全体スケジュール

- ISO等の国際標準対応を図りつつ、平成24年度以降の民間移行を睨み、今後の試行事業を推進。
- また、来年度に予見される「駆け込み申請」の平準化のため、事業者の早期の取組みを慫慂。



4-2. 試行事業の成果の全体像

50の認定PCR (Product Category Rule : 商品種別算定基準)
(約300事業者が中心になって策定した**公共財**)

210商品の検証が済み

73商品が市場に登場

※確認中

①PCR認定され、商品が出ているカテゴリ

ハム・ソーセージ類(申請代表者:日本ハム)

生ポテトチップス(申請代表者:カルビー株式会社)

うるち米(ジャポニカ米) (申請代表者:イオン株式会社)

衣料用粉末洗剤(申請代表者:イオン株式会社)

…計36件

あらびきウィンナー(上級森の薫り)

ロースハム(上級森の薫り)

ポテトチップス コンソメパンチ

ポテトチップス うすしお味

コシヒカリ(滋賀県産)

あきたこまち

スーパークリーンホワイト

セフターE

…計210商品

②PCR認定は済んだが、商品が出ていないカテゴリ

即席めん(申請代表者:日清食品ホールディングス)

電子血圧計(申請代表者:テルモ株式会社)

日用用・事務用紙製品(申請代表者:社団法人日本紙製品工業組合)

…計14件

→算定ルール自体は
できているので、
商品拡充を慫慂。

③今後PCR認定を行うカテゴリ

ビール類(申請代表者:ビール酒造組合)

精製糖(申請代表者:精製工業会)

…複数のPCR原案が既に提出

→相当程度の準備期間
を要することを踏まえ、
早期策定を慫慂

→更に多くの商品へ展開

5. 平成21年度試行事業を踏まえた見直しの概要

- 平成21年度試行事業を通じて得られた課題を踏まえ、
 - ①さらに多くの事業者の取組みを喚起する観点、②消費者ニーズに対応する観点から、**基本ルールの見直し(制度の簡素化等)や原単位データベースの公開等を実施。**

【主な内容】

- CO2換算量共通原単位データベース(現在:842項目)をホームページにおいて公開
- 暫定措置として、販売プロセスを算定・表示の対象外とする
- 多様な表示方法を試験的に認める (100gあたり/使用1回あたりの表示や削減率ラベルの追加など)
※表示ルール等について現在検討中
- 広範囲PCR実証事業の実施(カテゴリーを相当程度広く定めたPCR)
- カットオフ基準をライフサイクル全体のCO2排出量の5%以内に変更
- ライフサイクル全体に対する寄与度が低いプロセスの一次データ収集原則を緩和
- リサイクル準備プロセスまでのCO2排出量を使用済み製品の廃棄・リサイクル段階として算定
- PCRの対象商品又はサービスは可能な限り広く定義 等

【今後の課題】

- サービスの取扱 ○中間財の取扱 ○資本財の取扱 ○土地利用変化、炭素貯留の取扱 等

6. 民間の自主的な取組の胎動①

○足下では、民間主導のカーボンフットプリント関連の取組みが進展しつつあり、こうした取組を更に力強い、本格的な動きにしていけることが重要。

事例1) カーボンフットプリント日本フォーラム

- ・平成21年9月14日 設立
- ・会員数 187名

CO2を「見える化」するカーボンフットプリントを低炭素社会実現のための有効な手段として、普及し、定着させ、活用していくことを目的として、カーボンフットプリントに意欲的に取り組む民間企業や、環境技術・環境マネジメントを専門とする有識者、地方自治体、消費者団体、NPO組織などの有志によって構成される任意団体。



事例2) 国分株式会社による取組

国分は、カルビー、カンロ、亀田製菓、小売業者と協力し、8月1日から9月30日までの間、CFP(カーボン・フット・プリント)表示商品を対象とした**消費者向け参加型環境保護キャンペーン(112店舗)**を実施。

(対象商品)ポテトチップス、カンロ飴、サラダうす焼き
<http://www.calneco.jp/morigaikiru/>



6. 民間の自主的な取組の胎動②

事例3) 三信化工株式会社による取組

「エコが見える給食」・「エコが見える学校」として、小学校等を中心に、**独自キャラクターを用いて、LCAの考え方も含め普及活動を実施**



(出所)三信化工

事例4) チクマ株式会社による取組

「衣服を通じて環境貢献！」をテーマに東京、大阪で**環境負荷の「見える化」、「減らす化」、「気づく化」**を考える環境シンポジウムを開催。



(出所)チクマ

7. カーボンフットプリント制度の普及推進

○カーボンフットプリント制度を広く情報発信するためのWebサイトを開設。

(Webサイトアドレス: <http://www.cfp-japan.jp/>)

○来場者数約20万人の日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」(2010年12月9～11日)にもカーボンフットプリント専用ブースを設置(鳩山前総理、東国原知事らの要人も視察)。

エコプロダクツ2010の様子

活況なカーボンフットプリントブース



鳩山前総理の視察



東国原宮崎県知事の視察

他ブースでも大きく取上げ(民間の自立的な取組みへ)



(参考)カーボンフットプリント制度の理解促進プログラム

～CFP理解促進プログラムスケジュール予定表～

実施日			実施内容		
月	日	曜日	項目	イベント名	実施場所
6	8	火	学校 (1-1)	エコフェスティバル	越谷市立 大袋東小学校
8	24	火	消費者 (1)	リーダー育成講習会(1)	AP西新宿
9	22	水	学校 (4)	総合学習	川崎市立宮内中学校
10	17	日	消費者 (2)	リーダー育成講習会(2)	天満橋ドーンセンター
11	初		学校 (1-2)	エコフェスティバル(2)	越谷市立 大袋東小学校
11	13	土	ワーク ショップ (1)	CFPワークショップ	愛知県産業労働センター (ウイングあいち)
11	16	火	ワーク ショップ (2)	CFPワークショップ	札幌
11	21	日	学校 (2)	第7回高校生環境サミット	東京都立つばさ総合高校 (ISO推進委員会 吉岡大介)
12	9 10 11	木 金 土	展示	エコプロダクツ2010	東京ビッグサイト東展示場 【9小間】
12	9 10 11	木 金 土	学校 (5)	ジュニアグリーンスクール	東京ビッグサイト
12	11	土	ワーク ショップ (3)	CFPワークショップ	東京ビッグサイト
12	17	金	学校 (3)	公開授業(エネルギー環境WS)	川崎市立枡形中学校
1	22	土	ワーク ショップ (4)	CFPワークショップ	アクロス福岡
1月or 2月			ワーク ショップ (5)	CFPワークショップ	仙台

○各地で、消費者及び小中校生に対するカーボンフットプリント理解促進イベント、環境教育リーダーに対する講習会等を実施。

埼玉県越谷市立大袋東小学校
エコフェスティバルにおける理解促進イベント
「カーボンフットプリントって？」

日時:平成22年6月8日(火)9:00～
12:00 (30分×5回)>
場所:埼玉県越谷市立大袋東小学校
対象:小学生 約33名(内訳:1年生から6年生各
5,6人)×5回 延べ参加人数166名



カーボンフットプリント理解促進のための環境
教育リーダー育成講習会

日時:平成22年8月24日(火)9:30～16:30
場所:コンベンションルーム AP西新宿 Room A
対象:小・中・高校・大学の教員
環境・消費者団体、企業・自治体の環境教育担当者
環境教育やライフサイクルアセスメントに興味のある人



8. まとめ

◎カーボンフットプリント試行制度に関する取組みは、

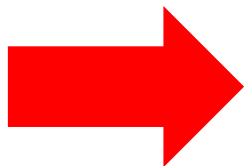
1. 環境ブランドビルディング【顧客目線/グローバル視点のものづくり】
2. 製品のサプライチェーン環境管理の試金石【ノウハウ・人材は財産】

◎今後も国際的に「見える化」の要請が強まる。【受け身の対応では遅れをとる】

国際標準も睨み、官民で日本の環境先進性が評価される制度に涵養することが重要。

◎これまでの取組みによって、日本では多くの商品種で算定基準(PCR)が認定。

これを土台に商品拡充を始めとした幅広い参画を期待。【残された時間は長くない】



お問い合わせは、カーボンフットプリント制度試行事業事務局
TEL : 03-5281-7563 <http://www.cfp-japan.jp> まで